

「話す」からデータ通信へ

多様化する通信料金

生活費を見直すとき、外食費や趣味にかけるお金はコントロールしやすいのですが、水道・光熱費や通信費も点検すると意外に節約できるもの。このコーナーでは、それぞれの料金の仕組みを学びながら、より賢く暮らすヒントをお伝えします。第3回は主に一般家庭での通信料金にスポットを当てます。

1 賢く使っていますか？ 固定電話

わが国の固定電話は1890年(明治23)にサービスが開始され今年で121年目。2億台ともいわれる携帯電話の普及に伴い、最近では自宅でも携帯電話という若い人も増えていますが、固定電話は、いまでも多くの家庭の主要な通信手段となっています。この固定電話の料金節約にはどんな方法があるでしょう。

まず簡単なものとして、電話料金や通話記録などをWEBで確認するだけにとどめ、料金は口座振替やクレジットカードで支払うと、毎月の請求額から105円が割り引かれるサービスがあります。

固定電話サービスの料金は、回線使用料と呼ばれる基本料金とダイヤル通話料、それにナンバーディスプレイやキャッチホンなどのオプション料金などから構成されています。オプションを再点検し、必要がなくなったものがある場合は解約をお勧めします。

通話料金に関しては、固定電話から携帯電話にかける場合、相手先の番号の前に、たとえば、NTT東日本なら「0036」など

専用の業者識別番号をつけることで、表で示したように安くなります。また、(あらかじめ)ご利用になる電話会社を登録しておくことで、通話料金がお安く利用できる「マイライン※」といったサービスも提供されています。

ところでインターネットが急速に普及したここ数年、既存のダイヤル(電話)回線を使用せ

【NTT東日本】(平日の昼間、3分間通話した場合)

通話先の携帯電話	「0036」を付けてダイヤル	「0036」を付けずにダイヤル(*)
NTT DOCOMO (NTTドコモ)	48円 (税込50.4円)	70円 (税込73.5円)
au (KDDI)	52.5円 (税込55.125円)	90円 (税込94.5円)
SoftBank (ソフトバンク)	52.5円 (税込55.125円)	120円 (税込126円)

*着信先の携帯電話が各携帯電話事業者の営業区域に在圏する場合

2 今や必需品!? 携帯電話

90年代後半から急速に普及してきた携帯電話は、通話以外にもメールやインターネットの利用を可能にしましたが、料金はどのように設定されているのでしょうか。

携帯電話は基本料金(契約の料金プランに応じた回線使用料)と、通話・通信料金、それに各社が提供している有料の付加機能使用

※マイラインは、あらかじめ登録した電話会社を使うサービス

パケットは「小包」のこと!?

携帯電話を利用する際に注意したいのがパケット料金です。パケットとは「小包」という意味で、メールやインターネットを利用したときのデータのかたまりを指す単位です。ちなみに1パケットは128バイトで、全角文字にすると64文字に相当します。ホームページを表示するときにも、アプリケーションのダウンロード、着メロや着うたのダウンロードなどでもパケット料金が発生します。たとえば2メガバイト程度の着うたフルをダウンロードした場合、コンテンツ料金とは別に、1曲あたり1300円~3500円ものパケット代金が請求されてしまう場合もあります。

最近では、スマートフォンというパソコン並みに機能が充実した携帯電話も登場し、携帯電話でデータ通信を行う機会が増えています。定額制サービスなどのプランを活用し、賢く利用したいものです。



料の合計となります。

携帯電話は、使っている電話会社とその料金プランによって月々の基本料金が異なります。携帯電話の利用状況によってふさわしい料金プランが異なりますので、まず自分の月々の通話時間や、パケット通信の量を確認してください。携帯電話購入時に決めたプランでムダが出ていないかをチェックし、契約後にスタートした割引サービスを利用すると、基本料金が安くなるケースもあります。携帯電話会社の窓口のほか、WEB上での料金プランシミュレーションサービスを利用して比べてみてはいかがでしょうか。

また、通話先やメールの送り相手を限定(例

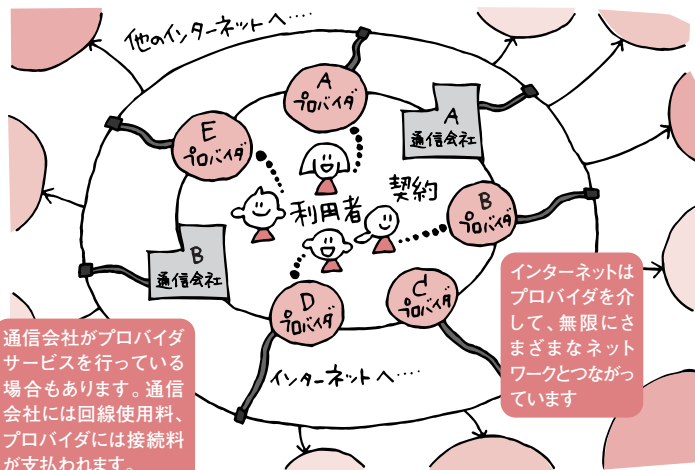
3 インターネットの料金のしくみを教えて!

例えば家族)した割引サービスや、電話をかけたリメールを送ったりする時間が、一定の時間帯に集中するような特定の時間利用の人の向けの割引サービスもあります。こうしたお得な割引プランを使い方に合わせて上手に活用しましょう。

調べものをしたり、ブログを楽しんだり、すっかり私たちの生活の中に浸透したといったインターネットは通信回線を使ってサービスを受けます。その料金は、通信会社に回線使用料金を、プロバイダに接続料金を支払い

ます。

契約する際は、速度や料金、インターネットの技術サポートやセキュリティの有無、メールサービスの内容などさまざまなプランが用意されているので総合的に比較しましょう。



通信会社がプロバイダサービスを行っている場合があります。通信会社には回線使用料、プロバイダには接続料が支払われます。

インターネット接続イメージ

ここ数年で一気に多様化が進んだ通信料金。それぞれの通信会社が用意しているプランは多種多様です。ライフスタイルやそれぞれの利用状況に合わせて、十分納得したうえで活用したいものです。

資料・取材・原稿協力：東日本電信電話株式会社、株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ

ご注意：今回はNTT東日本ならびにNTTドコモのご協力を得て誌面を作成しています(すべて2010.12.1現在)。料金メニューや設備機器、サービス概要などは、ご利用になっている通信会社などによって異なりますのでご了承ください。